



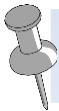
第 9 号

76 期の



— 内容 —

- 学年主任より
- 1 学期中間考査講評
- 朝読のすゝめ



学年主任より

2 年生になり、授業内容も難しくなってきました。課題研究も本格的に始まりました。さらに部活動では 3 年生が引退しているところは、最上級生として部活の運営に励みだしています。勉強に部活動にと、高校生活を 1 番満喫できるのが 2 年生ではないかと思います。「思考力・判断力・表現力」を磨くことや、仲間と共に目標に向かって切磋琢磨しあう中で、上手くいく経験だけでなく上手くいかない経験もして欲しいと思います。

私自身の話をすると、高校生活は部活、友達、恋愛をめちゃくちゃ楽しみました。高校の思い出に勉強を頑張った記憶がありません。その結果しっかり 1 年間浪人生活を過ごしました。3 年の夏に部活を引退してからは、それまでにやって来なかった勉強の遅れを取り返すために猛勉強をしましたが、勉強をしっかりやってきた人に追いつくはずがありません。遅れを取り返すためにはやはり浪人の 1 年間は必要だったとわかりました。そんな失敗経験から反省し、私は大学生活では勉強を頑張ることができ、夢を実現させる行動になったのかなと思います。2 年生のあの時、自分には行きたい大学もありましたが、目標に向かう過ごし方はしていませんでした。そんな 2 年生の過ごし方も、現役合格という点では失敗かもしれませんが、その後の過ごし方に失敗を活かすことができました。

皆さんの未来がどのようになっていくのかを楽しみにしながら、2 年生での生活を見守っています！

(76 期学年主任 伊藤)



1 学期中間考査講評

現代文

①教科書からの出題について

授業で解説したことについてはよくできていたという印象です。しっかりと復習してくれたのかなと思いました。一方で、少しひねった問題については、対応できていない生徒もちらほら見受けられました。現代文は丸覚えの科目ではありません。しっかりと「今何が問われているのか」を把握し、「それにはどのように答えるのがベストか」を自分で考える力が必要です。これは一朝一夕では身に付きません。普通の授業から問題と向き合い続けてください。

②ワークからの出題について

ワーク通りの問題と、そうでない問題とで、できにかなり差がありました。プラスで出した問題についても、実際は解説まできちんと読み込んで本文理解をしておけば、さらっと解ける問題です。答えだけ確認して終わり。ではなくて、解説の「本文の構造図」や「要約」などまできちんと読んでおきましょう。

③漢字について

全体的に好印象でした。きちんと計算はしていませんが、平均7～8点あったと思います。テスト前に一気にやるには多い量です。復習も含めて毎日コツコツと取り組んでほしいなと思います。特に、小テストのときと全く同じ間違え方をしてしまった人、しっかりと反省して、少なくとも「同じ間違えをしない」復習をしましょう。

④初見の問題について

過去の入試問題からの出題。高2時点でも十分正しい選択肢を選べる難易度だったはずですが、出来は悪かったです。時間が足りなかったという生徒は、意識的に速く読む、速く解く、という練習を『現代文解法のテクニック』をやる際にも心がけましょう。共通テストに限らず、受験国語では「速さ」が求められます。また、必ず復習もしてください。「あー、外れたな」で終わっていても、成長はありません。正答が自分の思っていたものと違うのであれば、必ず「なぜそれが正解なのか」を本文とにらめっこしながら自分で突き詰めてください。そして、そのあとで配布されている解説を読み込み、正当に至るまでのプロセスを把握してください。こういった復習なくして成長はありません。模試でも同じことがいえます。「受けたあと」の取り組みが大切です。頑張ってください！

古典

スーパークラス、スーパー以外のクラスどちらも2年生になってから、授業外のワークや古典単語もテスト範囲に含まれるようになりました。そのため、こまごまとした範囲に対応できず、準備不足の単元がある人が目立ちました。特に古典単語の出来の悪さが目立ちました。

2年生からは、授業内容の深い理解はもちろんのこと、それ以外にも多くの文章を読み、問題を解くという経験値も上げていく必要があります。そのための問題集です。

今回は初めてでうまくいかなかった人も、期末テストはぜひしっかり準備をしてテストに臨んでください。

期末テストの問題集出題範囲（全クラス共通）

- ・「日々古文単語」水無月・文月
- ・「アップリフト古文」7・8・9
- ・「リテラ」5・6

世界史

今回は、アメリカ独立革命・フランス革命・ナポレオンの時代・産業革命・ウィーン体制・南米諸国の独立からの出題でした。2年生で（世界史 A としても）初めての試験でしたが、感想はどうですか？できましたか？残念な結果でしたか？

2年生全体としては、まずまずの結果というところでしょうか。90点以上をとった人も複数いたので、難しい試験ではなかったと思いますが、欠点（30点以下）を取った人もいました。世界史は、1年次の現代社会に比べて覚えなくてはならない事項が増え、試験勉強が大変になってくる人もいます。今回、成績が振るわなかった人は、必ず問題を分析してくださいね。自分はどこができていなかったのか？また、どこができていたのか？どんな問題形式が出ていたか？など。今回の試験は大半が番号で選ぶ正誤問題でした。そのうち、「〇〇について述べた文として正しい（誤っている）ものを全て選べ」という、複数解答式（完全解答）の問題が比較的難易度が高かったと思います。ただ、問題としては高校（大学受験の）世界史で知っていなくてはならない、基本的な事項を問う問題が多く、授業にしっかり取り組み、復習や試験勉強にある程度の時間をかけていれば、60点くらいはとって欲しいところでした。今回、勉強時間が足りなかったと感じる人は是非、期末試験は頑張ってください。まだ問題を解きなおしていない人、やるか、やらないかは、あなた次第です。

日本史

幕末からいわゆる明治維新までの考査でした。春から新たな科目がはじまり、慣れない授業のスタイルや考査の出題形式で、もしかしたら戸惑う生徒もいたかもしれません。できる限り早く慣れて、必要であればみなさんの学習方法を変えて、いろいろなことを吸収してほしいと思います。以下、授業で説明したことと重なりますが、あえて再度整理しておきます。

とにかく「読む」学習を大切にすること。教材はどれも文字だらけでしんどいかもしれませんが、読まなきゃ始まらない。教科書、読みましたか？せめて2度は繰り返してほしいです（1度じゃ頭に入らない）。資料集、読みましたか？資料の解説は、歴史の理解を高めてくれます。プリント、読みましたか？授業で触れない部分も為になる情報がのってます。

田所が授業でしゃべっていることは、主にテスト等でよく理解度を問われるポイントとみなさんに歴史から考えてほしいこと、です。知識を自分のものにするヒントを授業時間に伝えたいと考えています。もちろんテストで直接は問われない内容も多分にしゃべったりしていますが、それも日本史の醍醐味だと捉えてもらいたいですね。

考査では、論述問題を出しました。今回のテーマは「中央集権化」。論述で満点は難しいと言いましたが、満点が何人かいてビックリ。やるからにはやっぱり満点をめざしてください！確認ですが、論述で出題される内容は、基本的に、教科書に書いてあるような「答えのある」ことです。文章は苦手だと考える人もいると思いますが、論述も知識です。日本史（歴史）が暗記科目だというのなら、暗記していれば論述問題も解けます。「読む」時に、どのような点に注目して覚えれば良いのか。今回の考査を復習すれば自ずとわかるはずです。ぜひ意識改革してください。

地理

高校での地理学習が始まり、初めての考査でした。結果はいかがでしたか？振り返ると、どのような感想を持っていますか？

高校地理において大事な視点や観点は少しつかめたでしょうか？これまでの中学校までの地理の学習とは「ちょっと違うかも…」という何かを感じてほしい期間でした。

今回の考査を通じて、もちろん事項を覚える過程は必要です。ただ、単なる用語や事項のみを問う出題は多くはなく、知識に加え、資料・図表を用いて思考することが求められる出題が多いことにも気づいてほしい点でした。出題全体を概観することやテキパキ読み取り処理する力も必要である等、今回の考査の経験が次回の考査にも活かせることもあると思います。考査を返却しながら伝えた人もたくさんいたとは思いますが、特に地形の内容は今後の学習に活用していく分野です。しっかり定着させてほしいです。

76期生が3年生となり、地理を受験する時が来たとき、地理の入試問題にもしっかり対応できる力をこれから2年間で養成すべく、授業を展開しています。授業では大小様々な事柄を発問して、指

名しながら思考してもらっているつもりです。自分がたとえ指名されていなくても、1人1人思考することができているでしょうか。「なぜそうなるのか」、理由や理屈を思考することを日々練習して、単純に教科書を読んで得ること以上の力を、毎回の授業で磨いてほしいと思っています。

ただし、一方で高校の地理のおもしろさも味わってもらえたらとも思っています！ 日々の授業を、まずは大切に、地理のおもしろさも感じつつ、力を身につけていきましょう！

数Ⅱ α

文系を選択している多くの皆さんは、共通テストで高得点をとることができればうれしく思うはずですが、そんな皆さんの思いに少しでも近づいていけるようにと思っています。それでは、近づいていくためにはどのように勉強をして力を付けていけばよいか？共通テストでは、公式を当てはめて使うだけの勉強方法では全く歯が立ちません。

本質を理解する勉強が必要になります。

早く正確に処理できる力が必要になります。

思考力と判断力が必要になります。

このようなことを定期考査の勉強で身につけることができているかを確認する内容で考査を作成しました。問題ごとに自分はどのような力が身につけていなかったのかをしっかりと振りかえって、今後の学習方法を見直さないといけない人はすぐに見直しましょう。

じっくり丁寧な勉強を心がけましょう！

数Ⅱ β

どうでしたか？自分で振り返ってみて反省したこと、次はこうしようと思ったことを 今、行動に移せていますか？

まだまだ問題をこなさきれていない人が多かったように思えます。問題に取り組むのは『テスト前だからぼちぼち～』ではなく毎日少しずつの積み重ねが大切です。その塵積が考える武器になるのです。『？？？』を残さず少しずつ少しずつ取り組みましょう。

今回の三角関数は数学Ⅲでも必要な内容です。このままではちょっと心配です。きちんと復習もしておいてください。

数B

学年平均は 49.8 点ほど、主に軌跡と領域の問題でしたがいかがでしたか？

客観問題 (1~5) は悪くない出来でしたが、軌跡を求める際にどんな図形か書いていない、不要であるのに不等式に=をつけているなど、凡ミスが目立ちました。また、5は4STEPに含まれていない問題で、混乱した人もいたかもしれません。初めて見る問題でも基礎知識から取り組めば十分解けるはず。どんな問でもきちんとチャレンジしよう。

以下、記述問題について

6十分条件の意味が分かっていない人が多かった。これを機に「命題と証明」の単元を復習しておこう。(正答率は20%ほど)

7領域内の (x, y) を用いた最大・最小問題。もっとも「なんとなく」解いている人が多いと感じた問題でした。とくに(2)は悪かった。点 $(0, 2)$ を中心とした円の半径を動かしているイメージがもてたでしょうか？図のイメージがわからない人は勉強不足と言わざるを得ません。

82直線の交点の軌跡の問題。

理数物理

物理の授業は週に2回しかありません。期末試験までの授業は9回しかありません。物理は初めて学習する内容もたくさんあるので、授業だけでは時間が足りません。というわけで、試験結果がいまいちだった人は、勉強時間が足りていないのだらうと思います。そんな人のために今回は書きます。

授業があったその日の夜に、最低15分授業プリントを見返し、復習しましょう。週末に1時間、物理の勉強をしましょう。1週間当たり1時間半の勉強時間ですが、物理を考える時間は約2倍になります。

試験前、少なくとも6時間は物理の勉強をしましょう。試験1週間前はクラブが休みのはずなので、平日の19~22時までの3時間×5日、土日は7.5時間×2日の計30時間は勉強できると思います。10分の1の時間を物理に充てると、3時間勉強できます。試験前日に3時間勉強すれば、これで6時間。

今まで物理の勉強をあまりしてこなかった人は参考にしてください。

理数化学

今回のテストは、課題であるセミナーをしっかり解いていれば十分点数が取れるものでした。授業の中で演習のためにとれる時間は限られているので、全てのパターンの問題を扱うことはできません。だからこそみなさんには「色々な問題に触れてほしい」という思いから、課題を出しているのです。課題への取り組み方ですが、1回全て解いてみて、解けなかった問題についてはできるようになるまで繰り返し解くようにしてください。そうすることで、あらゆるパターンの問題に対応できるようになるはずですよ。2年生の化学で学ぶ分野（「理論化学」といいます）は、習得するのに時間がかかります。3年になるまでに、時間をかけてできるだけ身につけるようにしておいてください。

（文責：石原 裕大）

理数生物

平均点は58.7点でした。考察問題について、【6】は比較的できていたように思います。【7】は荷札を全くもたないタンパク質Xの実験結果を読み飛ばしてしまった人が多かったように思います。文章量も多いですが、もう一度実験条件などを確認しながら結果を整理してみましょう。

理数地学

全体平均点は57.3点でした。記述問題以外で正答率が30%を下回っている問題をピックアップします。

大問1 問2のaとc 問3

大問2 問2

大問3 問2 問5

大問5 問4 問5の火星

大問7 問1のAとウ

全体の点数として大きく差が開いておらず、55～65付近に集中していました。単純な知識を問う問題など、簡単な問題は正解しており、応用問題や記述問題などに誤答や部分点のみになるという人が多くいたように思えます。知識も大事なのですが、事象の過程を理解することで点は伸びます。点数が比較的低い人はまず知識を、もっと伸ばしたい人は事象の過程を理解することを重点的に勉強してみてください。授業で取り上げられなかった問題の解説を聞きたい人は、直接宮崎まで。

英語 C

学年平均：47.3 点 学年最高点：93 点

*リスニング問題の音声・スクリプト（+和訳）、実力問題の和訳をクラスルームに載せていますので、復習に役立ててください。

一部実力問題はありましたが、全体として発展内容の出題はなく、すべて基礎・標準レベルの問題でした。試験の解答時間にも、ある程度余裕があったと思います。その割には、学年全体の平均点は、低めという結果でした。

原因の一つとして、一部「自習課題や復習を全く行っていない」という人の存在が考えられます。2年生になり、全体としての英語の授業時間は1時間減となりました。その分、今まで以上にしっかりと自宅学習を行う必要があるということは、繰り返し伝えてきました。授業を受けるだけでは、その場では理解できても、自身で再度その内容を再現することはできません。知識の定着や技能の習得には、授業外での復習・演習が不可欠です。自身の取り組みをしっかりと振り返り、効果的な学習計画を立て・習慣化させてください。

以下、気になった点を2点挙げます。

①今回の試験では、**2** シスタンの部分が良くできていました。この調子で、次は派生語や同義語・反意語までしっかりチェックしておきましょう。また、語の勉強に熱心に取り組む人が増えているのはもちろん良いことですが、単語ばかり学習して満足していませんか？ reading, listening, writing, speaking の4技能どれをとっても、使う時は単語単体ではなく文の形です。語彙力を発揮するには、文法や構造把握の力も必要です。自分の日々の学習が語彙のインプットに偏っていないか、もう一度見つめなおしてみましょう。

②和訳の問題では、いまだに「雰囲気訳」をしている答案が目立ちます。読解で内容を理解する時は、大意の把握だけでも十分ですが、和訳の際はきちんと訳すことが求められています。落ち着いて全体の構造を把握し、一つ一つ抜けがないかしっかりと確認をして、自分が理解していることをアピールするような解答を作るよう心がけましょう。

英語 G

●コメント

初めての英語構文のテストだったので、どんなテストが出るのか不安で、しっかり勉強した人が多いのではないのでしょうか。

学年平均は 60.6 点でした。思ったより高くてほっとしています。しかし、大問 4（部分英作）が完答じゃなかったおかげで、救われた人も多いのではないのでしょうか。今回は細かく部分点を設定しましたが、次回もそうとは限りません。大問 4 のうち、△（2点、1点）だった問題が×（0点）だった場合、何点だったのか確認しておいてください。

今回は、教科書外から出題される実力問題は全然ありませんでしたが、今後、実力問題が増えていきます。今回、点数が高かった人も油断せずに！

●配点内訳・出題箇所（今後も以下のような内訳になるとは限りません）

Active Writing

解説ページ		Ex.A1	Ex.A2	Ex.B	49点
例文	解説ページの例文以外				
4	2	6	12	25	

Bright Stage

小テスト	その他	18点
7	11	

構文 150

左のページ			右のページ			33点
小テスト	類例	発展	大問1	大問2	大問3/4	
6	3	3	6	7	8	

●問題の解説・コメント

⑥ 和訳

構文 150 からの出題。構文 150 は、**③**、**④**の読解に関しては、しっかり解説が書かれています。しかし、**①**の和訳や**②**の英作に関しては、模範解答が提示されているのみです。特に**①**の和訳は、なぜそういう和訳になるのか分からず、とりあえず自分の解答と違うから赤ペンで模範解答をうつしているだけ、という人も多いのではないのでしょうか。

講習に参加するとそういう謎が解消されるかもしれません。ぜひ参加してください。

●自分がとった点数を書き、自分がどの教科書の勉強が足りなかったのか確認しましょう！

大問	形式	小問	配点	Active Writing	Bright Stage	構文150
1	4択	1	1			
		2	1			
		3	1			
		4	1			
		5	1			
		6	1			
		7	1			
		8	1			
		9	1			
		10	1			
		11	1			
		12	1			
		13	1			
		14	1			
		15	1			
		16	1			
		17	1			
		18	1			
2	書き替え	1	3			
		2	3			
		3	3			
		4	3			
		5	3			
		6	3			

大問	形式	小問	配点	Active Writing	Bright Stage	構文150
3	並べ替え	1	2			
		2	2			
		3	2			
		4	2			
		5	2			
		6	2			
		7	2			
		8	2			
		9	2			
4	部分英作	1	3			
		2	3			
		3	3			
		4	3			
		5	3			
		6	3			
		7	3			
		8	3			
5	和文英訳	1	4			
		2	4			
6	英文和訳	1	2			
		2	4			
7	読解	1	2			
		2	1			
		3	1			
		4	2			
		5	2			
合計				49	18	33
自分の点						



朝読のすゝめ

時はさかのぼり、1年前の4月。君たちが朝読活動を始めるとき、担任の先生方からメッセージを書いていただいたのに、それを伝えることなく、1年と2か月が経ってしまいました。

1年と2か月前、担任の先生方はどのようなことを考えていたのでしょうか？

宮崎先生

結局、何をやるにしても文字を読むことから始まるので、読む力をまずつけること。

中辻先生

最初はどんな本でもよいのですが、自分の現在の能力より少しレベルの高いもの（難しめの本）を読んでみましょう。

はじめは朝読があるからと我慢をして読んでいても、続けていると、そう遠くないうちに何の苦痛もなく読めるようになってきます。習慣としての読書が身についてくると、冊数には関係なく伸びます。繰り返しますが、読書において大事なことは冊数ではなく習慣です。そのために朝読の15分を活用してください。

本をまったく読まない人が、本当の上位の成績で安定することはありません。最上位者の共通点は、本を読んでいるかどうかです。とはいっても、読書から得られるものは、成績などの浅いところのものだけではありません。これは大人でも同じです。読書の有無は人間の「幅」に関わってきます。読書を通して様々なことを知ることが、他人に心を寄せて、理解や思いやりをもつきっかけとなります。知らないことを「知ろうとする」姿勢や努力はとても大切です。私たち教員も可能な時は一緒に読書をしたいと思います。読書を通して見聞を広め、学問や人間の「土台」を築いていきましょう。

三好先生

中学卒業時、読書感想文のため以外で読書をほとんどしたことなかったですが、高校で朝読タイムのために読書を始めて、ドはまり。

今では No Novel, No Life です！ 楽しい上に知識（教養）を得られるなんて、一石二鳥！

伊藤先生

自分が経験できない世界を知れる

林先生

どんなものでも見る人が変わればとらえ方が変わる、人の数だけ考え方があるということが理解できる。自分が真理だと思ったものがほかの人から見ると意外とそうでもなかったりします。

中野(祐)先生

Reading broadens your horizons.

俣野先生

- ① 脳が活性化され、ストレス解消になる
- ② 集中力が向上する
- ③ 読み書きの能力が培われ、学力が向上する
- ④ 想像力が豊かになる
- ⑤ 語彙力の増加でコミュニケーション能力が向上
- ⑥ 感性が磨かれる
- ⑦ 情報を鵜呑みのせず、自分の考えを持てる
- ⑧ 行動力や実行力がアップする
- ⑨ 新しいアイデアが浮かぶ
- ⑩ 世間知らずになってしまうことを防ぐ

そうです！

曾野先生

- ・ 心のスイッチの切り替えができる(忙しい毎日の中で見失いそうな大切な自分の気持ちを思い出したりできる)
- ・ 教養！！(勉強は知識を得ることだけではありません。一見無駄と思えることに人生のヒントがあることも・・・)